

心が和む瞬間

校長 武井 正明

朝の生徒玄関。気温が上がって暑い一日になりそうだ。

野球部の人たち、土曜の準決勝に備えて昨夜はエコスタでみっちり練習、雨が降らなくてよかったね。皆充実した表情だ。私は全力で応援するのみ。思いっきり行け!!

挨拶をしていると、座って話している1年生の男子ふたりを見つけた。

どうやら、ひとりには部活に入ろうか迷っているとのこと。

私は帰宅部が悪いとは全く思わない。放課後の過ごし方なんて個人の自由。ゆったりといい顔で、楽しく過ごせる時間であればそれでいい。何も問題はない。

ただこれはぜひ伝えたい、と思ってついついふたりの話に、少し入ってしまった。

入る気持ちが少しでもあるのなら、1日で辞めたっていいから入ってみてほしい。自分は高校時代に野球部に仮入部すらしなかった、人生最大の後悔があるのだから。

そして見ていて嬉しかったのが、もうひとりの彼が、友達のことを本気で心配して声を掛け、話を聴いている姿。いいなあ、こういう友達関係。

そういえば去年冬、彼の兄貴も、自転車の鍵を紛失した友達のために、私たちと一緒に、暗い体育館の周囲を必死に探してくれたことを思い出した。あれ見つかった時、嬉しかったなあ。一緒に探してもらった友達は、もっと嬉しかっただろうね。

君もお兄さんに似て優しいね。ひとりひとりいろんな事情もある。入部の結論はどちらでもいい。じっくり考えて決めればいい。それにしても君たちの関係が羨ましい。これが一生の親友に発展していくこともある。ずっと仲良しでいてほしいな。

初夏の暑さの昼休み。久々にグラウンドに出る。サッカーを楽しむ1年生が8人。私も入ってもらってハーフコートでゲームをやる。クラブチームに所属している人もいて、ちゃんとサッカーになっている。でも、上手も下手もなく運動を楽しんでいるのがいい。そのうちやる人も増えて、オールでできるとまた楽しいね。

グラウンドから戻る。いつも「校長先生、絶好調!!」と声を掛けてくれる2年生男子の彼がいた。「今日のはあんまり球に触れなかったよ。あなたは?」と訊くと「僕はいつも絶好調ですよ」と、笑顔でイキのいい返しがきた。思わずこっちもパッと元気が湧いてくる。

普段からポジティブな言葉を発することは、とても大事なことです。常に前向きなあなたは、自分と周囲の人に、しぜんとプラスのストロークを呼び込んでいるはずだ。

このように、心が和む瞬間が、校内至る所にあるのです。ありがたいことです。